widget作成ルール試案

**検証環境**

・Windows

Google Chrome / Firefox / Microsoft Edge / Internet Explorer

・MacOS

Safari / Google Chrome

・ios

Safari

・Android

Chrome

※最新バージョン想定

※iPhoneSEサイズの320pxでも崩れないようにする

**全体**

・スマホサイズ対応を基本とし、メディアクエリなどでレスポンシブ対応はしない

・PCサイズデザインの場合はPC向けに別widgetとして作成する

・ページ内に複数個設置されても問題ない作りにする

・もしページ内に一つしか置けない、もしくは複数個設置する際に書き換えが必要なものはその旨を明記する

・fontAwesomeは使用しない

beyond使用のアイコンライブラリもしくは画像での対応をする

・カラーバリエーションは別widgetにせず、コメントなどで色の替え方を指示する

（リッチエディタでカスタマイズできる箇所については極力設定しない？）

**CSS**

・beyond上のスタイルリセットのため下記タグを使用する場合は調整スタイルを追加する

　（対象のタグについて要確認）

|  |
| --- |
| **ol / ul**  padding: 0;  **li:before**  margin: 0;  **div**  単classでのセレクタ指定だとmax-widthが上書きされるため!importantをつけるか2階層以上のセレクタで指定する |

・見出しwidgetを作成する際はh2を使用し、フォントサイズ27pxにする

（beyondエディタと統一）

**Javascript**

・widgetのscriptは「var sb（固有ID） = sb（固有ID） || {};」の形でカプセル化し、

　グローバルにはコードを書かないようにする

**ID**

・必須の場合を除き使用しない

（ページトップボタンなどページ内で１つのみ設置する要素、フォーム部品とラベルの繋ぎこみなど）

・使用する場合は「sb-（固有ID）-xxx」の形式で命名する

**Class**

・CSS用のclass名は対象箇所が判別しやすい名前にする

・Javascriptで操作するためのclass名は「js-（固有ID）-xxx」の形式で命名する

また、javascript用のclass名にはCSSを設定しない